

花には太陽を子どもには平和を

ずくぼんじょ

くるみえん
since 1975
小金原保育の会 幼児教室

発行 第261回 R7.10.3 広報委員会

小金原保育の会 幼児教室

「ずくぼんじょ」はくるみえんのホームページ内の「会員ページ」でカラーでご覧になれます。パスワードは「hoikunokai」とす。

新市長 松戸隆政 市長 にお会いしました

松戸

去る8月19日、松戸市長との懇談の機会をいただき、保育者と母 総勢11名で参加してきました。新しく市長になられた松戸隆政市長にくるみえんのことを知っていただく貴重な機会となりました。当日はくるみえんの理念や子どもたちの主体性を大切にしている日々の保育、自主運営という珍しい形態について、参加者の言葉で1人ずつ伝え、市長からも深く頷いていただきながら話を聞いていただきました。また、ちば・うみやま保育(千葉県自然環境保育認証制度)の推進に、当時県議会議員であった松戸市長が尽力されていたことを伺うことができたのは、とてもうれしかったです。今後とも、松戸市で共に子どもたち一人ひとりの育ちを見守って行きたいと強く思いました。(会長 淡井陽子)



市長に運動会へのご参加もお願いしました。5110ンが好きなぞ、10ン食い競争に出たい!と嬉しいお言葉も頂きました。



保育者からは「働きやすい環境の中で理想の保育が実現できている」という声を、保護者からは「日々、くるみえんの保育の質を実感しており、これからは地域に残ってほしい」との想いをお伝えしてきました。



ママ体験者の声



初めての保育ママ。最初は「どう動けばいいんだろう?」と戸惑い、見守るというより棒立ちになってしまったり不安でしたが、気づけば子どもたちにくるみえんの遊びを教えようという気持ちでいっぱい。外ではカタツムリやバタムシ探し。虫が苦手な私は捕まってもうはかりでしたが、「触ってみて?」と子どもに勧められ、恐る恐る手に乗せてみると意外と平気でちゃんと懐かしい気持ちになりました。お部屋では絵本を読みました。何度も並んでくれるのが嬉しくていつまでも読んでしまいました。その後の片栗粉粘土ではつかむと固まり手を離すととろける感触に子どもたちと一緒に夢中になりました。最初は緊張していた私も子どもたちの表情や言葉に助けられ、気づけば小さな発見がいくつもあってとてもおもしろい時間になりました。うさぎくみ母

母の活動が保育ママとは?

行事の時など、保育者の手が足りない時の在室児母による保育のお手伝いです。

初めてお母組の保育ママになる日、私は少し緊張していました。が、3才児らしい人懐こさと笑顔が子どもたちが見せてくれたので、緊張がほぐれました。私が驚いたのはくるみえんに入って間もないのに、朝教室に入ってから、自分のやる事が出来ていて、まだ幼いと思っていましたが、こうやって出来る事が増えて成長しているのだと感心しました。日々、同じ場所、遊び道具でも、どうしたら楽しく遊べるかを考える発想力の豊かさに私も楽しみながら過ごしました。うさぎくみ母

ロバの音楽座

8月30日に小金原市民センターにてロバの音楽座による演奏会が開かれました。今年、くるみえんは50歳。ロバの音楽座は43歳になるそうです。中世・ルネサンス時代の古楽器やオリジナル空想楽器により、木も子どもも楽しめる、バ温まる「音と遊びの世界」を会場一体となって体験し、素敵なひと時となりました。

音楽に合わせて体を揺らしたり、手拍子したり楽しかったね!

「ハッピー・ソング」という曲が唄われると、『この歌...知ってる!』と子どもの声が! 小学校3年生の教科書に載ってるみたいですよ!



うさぎぐみ とくべつな

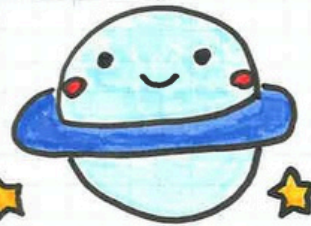
7月11日にうさぎぐみ とくべつな日がありました。

とくべつな日に何をやろうかな? 皆で相談をして計画を立てる。そして、皆で決めた事を皆で楽しむ。全力で参加する子ども達の姿はとっても逞しい! そして頼もしい! 大好きなくるみえんで大好きなお友達・先生達と過ごした1日はとても贅沢で素敵な思い出となりました。

宇宙をテーマに製作活動をしたよ!



そりめん
そりめん



・くるみえんの火田では、年長さんになると一人一つ自分で選んだ野菜を育てています。苗を植えるところからスタートし、水やりなどを通して、少しずつ大きくなっていく野菜たちを日々見守っています。収穫した野菜は、クッキング保育で使ったり先生たちが調理してくれてお弁当の時間に食べています。食べ物がどこからくるのかを知り、自分の手をかけたものを口にする、それは「食」そのものへの興味だけでなく、「誰かと分け合うこと」「自分で選ぶ、味わうこと」といった生きていくうえで、とても大切な感覚を育てているように思います。「食」の体験が子どもたちの毎日の中で少しずつ土台となり、やがて大きな「生きる力」へと育っていく、そんな姿をこれからも大切に見守っていきたいと思っています。

P.N まれーごま



自分で育てた野菜!

編集後記

長い長い夏がようやく終わるのか? 朝、晩秋めいてきました。今年の水不足は火田の作物たちにも大きな影響が及ぼっています。自然と共に暮らすということは、日々、考えることの連続。工夫をこらし豊かな実りの秋となりましょう。又向は考える葉とみるってえらい人の談。